

平成29年度 指定管理者年度総合評価表

(平成29年4月～平成30年3月実施分)

作成日	平成30年6月8日
-----	-----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市多賀多目的運動場	
所在地	八戸市大字市川町字市川後55-1	
施設概要	設置目的：震災の津波による住居被害が市内で最も大きかった多賀地区の活力を創出するとともに、最大クラスの津波から被災を免れることを目的として建設された。 構造：鉄筋コンクリート構造 主要施設：管理棟兼津波避難施設、天然芝球技場、人工芝球技場、常設駐車場、多目的広場	
指定管理者	名称	八戸スポーツ・地域振興グループ
	代表者	株式会社ヴァンラーレ八戸 代表取締役 細越 健太郎
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字市野沢35番地
指定期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日	
指定管理者の業務	施設使用許可、施設設備の維持管理、その他	
市所管課 (問合せ先)	まちづくり文化スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ振興グループ	
	電話	0178-43-9159 (直通)
	E-mail	sportsshinkou@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	28年度は10月1日から施設運営が始まり、約54,000人の利用があったが、29年度は約132,000人の利用があった。半期で比較すると前年度比22%の増加であり、施設運営を通じて地域の活性化に寄与できたのではないかと考えている。
今後の目標	30年度も、地域コミュニティと連携を図り、よりいっそう地域活性化に貢献する活動及び利用者増加のための取組を進めていく。収支については、経費節減と積極的な自主事業の推進により収益拡大を図るとともに、施設維持管理については、迅速且つ的確に行い、快適な環境づくりを行う。

■市（所管課）の総合評価

評価	指定管理2年目になり、初年度に培った知識・経験を活かし、通常の施設運営のほか、施設が抱える潜在的な課題にも適切に対応した反面、収支計画を上回る支出で赤字となってしまった点は残念であった。 一方、主に一般利用に供する人工芝球技場について、冬期間も維持管理に支障のない限りの貸出しを行い、より多くの利用機会を提供した点は評価できる。 さらには、体育施設としてのみならず、地域のコミュニティースペースや一時避難施設としての機能も兼ね備えていることから、地域の理解・協力を得る重要性を十分理解し、施設の環境美化を協力して行うなど、積極的に地域との交流を図り、良好な関係を築くことができた。
指摘事項	可能な範囲で支出を抑え、収支の改善に努めること。

〔評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能〕

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況

指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	指定管理者申請時の事業計画書で提案のあった休場日（第三火曜日）の条件は満たさなかったが、年度の事業計画で定めた（第二第四月曜日）とおり、規則で定める休場日（毎週火曜日）より少ない休場日で運用し、より多くの利用機会を提供した。また、年明けからのヴァンラーレ八戸FCの新体制の練習日程に対応し、当初休場日としていた第二・第四月曜日についても午前中は開場した。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	管理運営に必要な人員を配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
障がい者の雇用状況 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	初年度（平成28年度）はできなかった障がい者雇用について、11月から雇用した。
協働のまちづくりへの協力 ※募集時に提案していた場合（選定時加点）	○	提案内容とは異なるが、以下のような地域貢献活動が行われていた。 ・場内の美化に当たり、地元の町内会と協力して実施するとともに、活動を通して交流を深めた。 ・当該施設が、八戸市総合防災訓練（9月1日実施）の会場となったことから、市、関係機関並びに地域住民と連携し、訓練に貢献した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
使用料の徴収事務 ※徴収委託をしている場合	○	使用料等の徴収事務が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	指定管理者の過失等により、市や第三者に損害が生じた際の対応が適切に行われていた。
付保する保険 ※協定書で指定管理者に保険加入を指定している場合	○	協定書で指定する保険に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	28年度から30年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。

管理終了後における引継ぎ	—	28年度から30年度まで継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。(使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況	○	天然芝球技場43,171人、人工芝球技場65,130人、合計108,301人の利用があったほか、前年度は臨時駐車場としての実績しかなかった多目的広場において、イベント開催での利用が1回あった。
自主事業	○	飲料等の自動販売機を設置し、利用者の利便性向上を図り、利用者の増加に寄与した。
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	事業計画のとおり、利用者のニーズに答えて、基本的には休場とする12月～3月もできる限り人工芝球技場を貸出し、利用促進に努めた。(12月～3月までの人工芝利用者 14,748人)

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																						
指定管理業務の収支状況	△	収支計画を達成できず、赤字であった。 (単位：円)																																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">収入 ①</td> <td>指定管理料</td> <td>59,936,000</td> <td>59,936,636</td> <td>28,200,000</td> </tr> <tr> <td>雑収入</td> <td>0</td> <td>176</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>自主事業繰入金</td> <td>0</td> <td>669,444</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>0</td> <td>304,560</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>59,936,000</td> <td>60,910,816</td> <td>28,200,016</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">支出 ②</td> <td>人件費</td> <td>19,995,000</td> <td>22,758,878</td> <td>7,372,453</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>35,221,000</td> <td>38,266,414</td> <td>12,304,525</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>4,720,000</td> <td>1,687,605</td> <td>1,361,748</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>59,936,000</td> <td>62,712,897</td> <td>21,038,726</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>359,532</td> <td>304,560</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入－支出(①－②－③)</td> <td>0</td> <td>△2,161,613</td> <td>6,856,730</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入 ①	指定管理料	59,936,000	59,936,636	28,200,000	雑収入	0	176	16	自主事業繰入金	0	669,444	0	修繕料繰越金	0	304,560	0		計	59,936,000	60,910,816	28,200,016	支出 ②	人件費	19,995,000	22,758,878	7,372,453	維持管理経費	35,221,000	38,266,414	12,304,525	事業費・一般事務費	4,720,000	1,687,605	1,361,748	計	59,936,000	62,712,897	21,038,726		次年度修繕料繰越金③	0	359,532	304,560		収入－支出(①－②－③)	0	△2,161,613	6,856,730
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																		
		収入 ①	指定管理料	59,936,000	59,936,636	28,200,000																																																		
			雑収入	0	176	16																																																		
			自主事業繰入金	0	669,444	0																																																		
			修繕料繰越金	0	304,560	0																																																		
			計	59,936,000	60,910,816	28,200,016																																																		
		支出 ②	人件費	19,995,000	22,758,878	7,372,453																																																		
			維持管理経費	35,221,000	38,266,414	12,304,525																																																		
事業費・一般事務費	4,720,000		1,687,605	1,361,748																																																				
計	59,936,000		62,712,897	21,038,726																																																				
	次年度修繕料繰越金③	0	359,532	304,560																																																				
	収入－支出(①－②－③)	0	△2,161,613	6,856,730																																																				
		一般事務費は収支計画を下回ったものの、それを上回って人件費及び維持管理経費が収支計画を上回った。																																																						
自主事業の収支状況	○	自販機設置事業 ・収入 1,234,164円 ・支出 564,720円 収支差額 669,444円																																																						

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	ホームページ、SNS、パンフレットにより、積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情処理簿を準備し、利用者から苦情があった場合に記入するように体制が整っていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等が無かった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取り組み等が適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・水道メーターを毎日確認し、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	毎月の月例報告、年1回の事業実績及び年間事業計画が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

	実施回数	実施日	実施者	実施内容
実地調査状況	1回	2月20日	GL、担当	施設利用申込書、領収書、収入・支出事務に係る書類の突合、日常業務日誌、施設・設備点検記録簿、委託契約書等を確認。
	実施結果			
適正な事務処理が行われていた。				

※GL：グループリーダー